

うめのき幼稚園だより

令和5年9月29日
北区立うめのき幼稚園

10月

げんきもりもり えがおにこにこ ひとみきらきら



思いをもって遊ぶこと

園長 篠澤 恵理

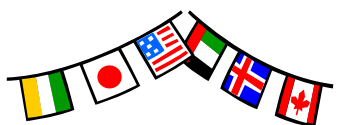
本園の畑で育てたサツマイモの収穫をする際、子どもたちがサツマイモのつるを引っ張ると、5m以上の長さがありました。たくさんのサツマイモを収穫した後、一人が芋づるを持って走りだすと、それを追うように次々と芋づるを引きながら走り出しました。芋の収穫の前に、リレーを楽しんでいたこともあってか、芋づるをリレーのバトンのように次の走者へ渡している子もいました。

また、長縄跳びができるように、芋づるを大きく回してみようとする、すぐに4~5人の子が、友達と跳びたいという思いで一緒に並びました。幼児にとっては、友達と息を合わせて長縄跳びを跳ぶのは難しいので、一人ずつ跳ぶ方がよいかもしいろんなと思って見ていましたが、子どもたちは、何人かで一緒に跳びたい思いで並んでいるのです。初めは、一回跳ぶのも苦労していましたが、何度も試みているうちに、数回跳べるようになったので驚きました。思い返してみると、7月に稲付中学校の生徒たちが、職場体験で本園に来た時の最終日、「中学生の得意技」として、長縄跳びを披露してくれたので、憧れの気持ちを持ち、「自分たちも、友達と一緒に跳びたい。」と思ったのかもしれません。これまで見たことや経験したことが、子どもたちの心に残り、次の「やってみたいこと」につながっていると、改めて実感しました。

初めのうちは、ただ「やってみよう」とする小さな思いも、「面白い」「できた（できない）」「もう1回」と、繰り返しながら、「こうしたい」という目当てへとつながり、「こうなりたい」という意欲になっていくのです。子どもたちが、何を面白いと感じているのかをよく見たり、心の声を聴いたりして一緒に共感したり、励ましたりしていくと、子どもたちの思いが印象付けられて、自分の目当てとなっていきます。やってみたいことが叶う経験を積み重ねて、自信につながっていくように支えてまいります。



えがおにこにこコーナー



【スクールコンサート】



【親子ネイチャー】



【サツマイモのツルで、かけっこや長縄跳び】



スクールコンサートでは、プロの演奏を間近で聴き、親子ネイチャーでは、園内の自然探しをしました。サツマイモの収穫後は、芋づるを蛇のように動かして跳んだり、前を走る友達が引く芋づるの葉を踏んだり、様々な遊びを考え、芋づるで遊ぶ楽しさを満喫した日となりました。様々なことを体験して、心がわくわくと踊る毎日です。